

沖縄県保険医協会会員数
796名
(12月1日付 現勢)
全国保険医団体連合会会員数
107,480名
(12月1日付 現勢)

沖縄 保険医新聞

発行所 沖縄県保険医協会
〒902-0078 那覇市字識名1195-1
大城産業ビル106号
TEL (098) 832-7813
FAX (098) 832-4482
https://okinawa-hk.com
発行人 仲里尚実
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)



謝花副知事へ要請書を手交する仲里会長



副知事室での懇談の様子

沖縄県知事要請

新型コロナウイルス感染症対策に関する 政策・情報の透明化を県知事に要請

11月26日(木) 沖縄県庁 6階副知事室にて、知事代理として要請に応じた謝花喜一郎副知事に対し、新型コロナウイルス感染症対策に関する政策・情報の透明化を求める要請を行った。要請には協会役員5名(仲里会長・高嶺副会長・座副会長・山里理事・照屋理事)、県民主医療機関連合会から2名(津田智弘副会長・事務局1名)、協会事務局3名が参加した。

冒頭に要請書手交式があり、仲里会長から、これまで県が行ってきた対策本部会議や専門家会議の政策決定の過程が不透明で、議論がオープンにされておらず、議事録も作成されていない状況を指摘し、医療従事者やメディアへの情報提供が乏しく適切な状況把握が困難になっていることを伝え、これらの改善を求めた。

謝花副知事は、「我々はいかに医療体制を守るかをいつも念頭においている。しっかりとした状況の把握、情報提供の必要性は充分認識している」とした上で、「第一波からなかなか手が回らず、現在はなんとか議事概要という形でまとめている。可能な限り政策の方針が分かりやすいように取り組んでいるつもりだが、今後はより一層、情報がかつかりと医療関係機関や県民に届くよう取り組んでいきたい」と応じた。一方、専門家会議に関しては、「色々な専門家からの意見で非公開にしているが、会議終了後は概要説明を行っている」と理解を求めた。

またPCR検査の充実に関しては、「これだけ感染が広がっているとPCR検査の充実が極めて重要だ」との認識を示し、現在、新型コロナウイルス感染症の診療が可能な医療機関は435か所(入院治療を行う病院21か所、発熱患者の診

療を行う医療機関414か所)あり、一日3500件のPCR検査が可能。抗原検査についても232か所で一日3600件の検査が可能で、一日7100件の検査受入れ体制で感染防止に努めているとの報告があった。

最後に、同席していた大城玲子保健医療部長から、民間医療機関で検査センターを設置する際の検査機器購入費に対する補助金の案内と検査センター設置への協力要請があった。謝花副知事も、コロナ禍を乗り越えるためには県と医療関係機関との協力体制が必要不可欠であるとの認識を示し、改めて今回の要請内容を重く受けとめ、コロナ感染症対策に努めていただくことを確認し、要請終了となった。

この様子は、新聞・テレビでも放送され、要請終了後のNHKインタビューに

2020年11月26日
沖縄県知事 玉城 康裕 殿
沖縄県新型コロナウイルス感染症対策に関する政策・情報の透明化
についての要請書

沖縄県保険医協会理事会
会長 仲里 尚実
副会長 高嶺 朝広
群星沖縄臨床研修センター
センター長 徳田 安春
沖縄県民主医療機関連合会
会長 座波 政美

貴職におかれましては、県民の健康増進、生命と生活を守るため、また新型コロナウイルス感染症の拡大への対応、収束に向けた日夜のご尽力に敬意を表します。沖縄県は4月の第1波、7月からの第2波を経験し、10月以降も感染拡大が続き、今後も長期的な対応が必要と考えます。新型コロナウイルス感染拡大の下で、医療体制は逼迫し、医療機関の経営悪化、県民においては治療中断・受診抑制による持病の重症化も深刻で、収束の見通しが立たない中、地域医療をどう守っていくかという大きな課題があります。特効薬やワクチンの開発が出ていない現在、感染を拡大させないことが重要であり、コロナ対策の第一線で奮闘されている貴職の果たす役割はますます重要になってきます。

この間行なわれてきた沖縄県対策本部会議や専門家会議での沖縄県における総括、検証を踏まえて、今後の感染防止への取り組みの政策が確立されていくことは言うまでもありません。しかし、これまでの沖縄県の対応は、政策決定の過程がどのようにされているか不透明で、議論がオープンでなく、議事録も作成されていないと聞き及んでいます。また、医療従事者やメディアへの情報提供も乏しく、適切な状況の把握が困難となっています。医療従事者や県民がコロナ対策について、沖縄県の方針、政策を理解し、感染防止に努力するためにも、充実した情報提供を求め、以下の項目を要請致します。

- 【要請項目】
1. 専門家会議のオープン化、議事録の作成、専門家の定期的な公的モニタリングコメントの公表(東京都並み)
 2. 沖縄県民、医療従事者への情報提供の充実化
 3. 季節性インフルエンザ流行期を見据え、PCR検査を無症候者、軽症者なども含めて、希望者に対して迅速に検査が受けられる体制の整備および充実
- 以上

令和2年度 沖縄県指導日程【歯科】			
年月日	曜日	指導種別	対象者数
2020年12月17日	木	新規個別指導	2
2020年12月24日	木	新規個別指導	3
2021年1月14日	木	新規個別指導	3
2021年1月21日	木	個別指導	2
2021年1月28日	木	新規個別指導	3
2021年2月4日	木	個別指導	1
		新規個別指導	2
2021年2月18日	木	個別指導	1
		新規個別指導	2
2021年2月25日	木	新規個別指導	2
2021年3月4日	木	個別指導	2

※日程については変更になる場合(感染症対策、台風等)があります。



NHK取材の様子

「大麦」という文字を「大」大きく「麥」と書く。今は、自分の生き方を見つめ直し、大きく変わるチャンスなのかもしれない。

先日、マスク会食(少人数)にチャレンジしてみた。最初はぎこちなかったが、慣れてしまえば大丈夫。感染のリスクを減らした会食を楽しめ、早食い防止にも効果大と気づく。仕方なく始めたオンラインでの会議や講義も、移動の時間が短縮でき、今まで以上に多くの人とコミュニケーションができるなどメリットも大きい。ピンチの状況はクリエイティブなジャンプができるチャンスなのかもしれない。「制約は創造の母」ピンチはチャンスだ!

健康法師

て、高嶺副会長は「県に対してはスピーディーに対策を取っていただき、検証可能な透明性のある対策をしていただきたい。一緒に協力してコロナの問題を解決していきたい」と述べた。

新型コロナウイルス感染症に振り回された2020年も残りわずか。今後もしっかりと「ウィズコロナ」の時代をどう生きるかが一人一人に問われている。コロナ太りやコロナうつなど身体や心の不調を訴える人がいる一方、心身ともに元気になった人も少なくない。「タバコを吸っているとコロナ感染で重症化しやすいから」と禁煙外来を受診したタバコと縁を切った人、飲み会が減って肝機能が正常化した人、リモートワークで増えた自由時間でジム通いを始め、血圧や糖尿病のコントロールがグンと良くなった人。

風草

新型コロナウイルス感染症に振り回された2020年も残りわずか。今後もしっかりと「ウィズコロナ」の時代を

医学学習会開催

新型コロナウイルスの流行と感染対策

11月19日(木)市町村自治会館で、高山義浩氏(県立中部病院感染症内科・地域ケア科副部長、沖縄県保健医療部地域保健課主幹)による「新型コロナウイルスの流行と沖縄県における対策」の学習会を開催し、医科・歯科・スタッフ等合計30名が参加した。



高山義浩氏

新型コロナウイルスの感染性のピークは0〜2日前

で、発症後8日で感染力は大幅に低下する。感染の伝播モデルとしては、歓楽街から家庭にそして高齢者に感染している。また高齢者入居施設では、職員からの感染が問題となっている。日々の新規感染者数に私たちはとらわれがちだが、

新規感染者数は若者が発症時に受診するかどうかで、大きく変動することによって、感染の動向を見るのは、中等症以上の入院患者数の増減が最も適している。



質疑応答

小児も感染しやすさは成人と変わらない。家庭内で保護者から感染している例が多いが、学校での集団感染もみられる。症状は発熱、乾いた咳を認める一方で、鼻水や鼻閉などの上気道症状は比較的少ない。発症してから1日以内で軽快

する例が多い。重症化することは少ない。ただし2歳未満の子は比較的重くなる傾向がある。40代から60代に関しては男性が女性と比べて突出して多い。中年独居男性はスナックで感染する方もおり、沖縄県は離婚率が高いことが影響していると考えられる。

冬にむけて、①医療機関では、回復期や慢性期医療機関で集団感染が発生した場合の申し合わせ。県内で感染が急増した場合に備えて「臨時の医療施設(体育館等を利用した)」の立ち上げの検討。医療従事者の離職を防ぐための具体的な施策の検討。

②高齢者施設では、感染者や濃厚接触者が発生した場合の介護従事者の応援体制。集団発生が疑われる際の感染症専門家の派遣体制。集団発生が疑われる際に検体採取を行う医療チームの派遣体制。デイサービスの職員に対する定期スクリーニングについての検討。

③一般家庭において、自宅療養する独居者への食事など生活支援体制。同居者が感染して入院した場合の飼っているペットの預かり先。

上記の体制整備がすぐ必要となってくる。当協会としても全力でコロナ感染対策に尽力していきたい。副会長 高嶺 朝広

抄論

新型コロナウイルス感染症と向き合って

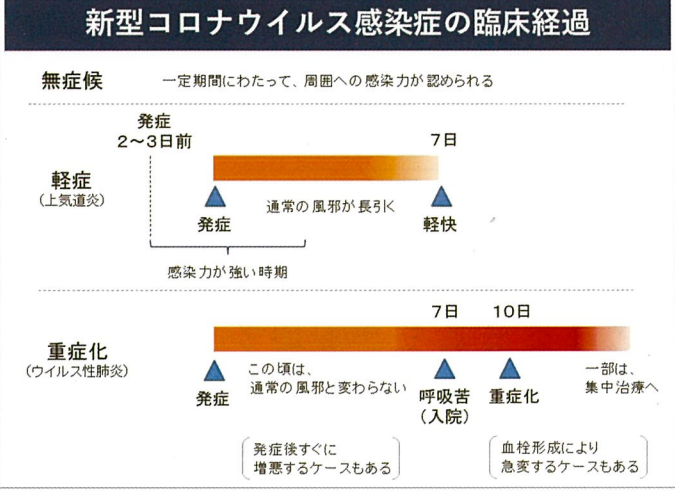
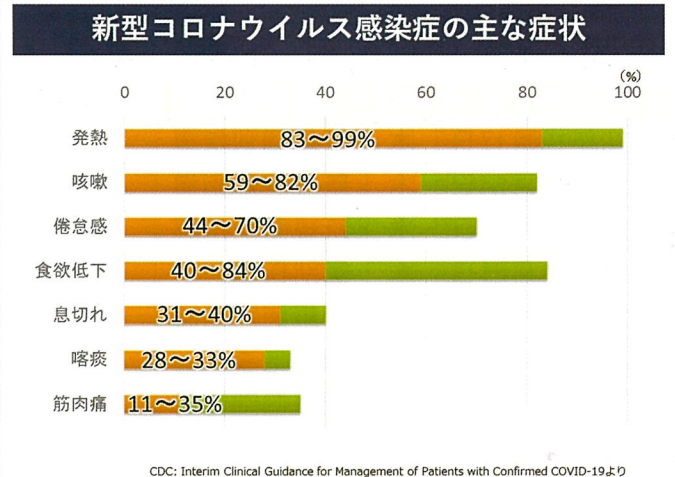
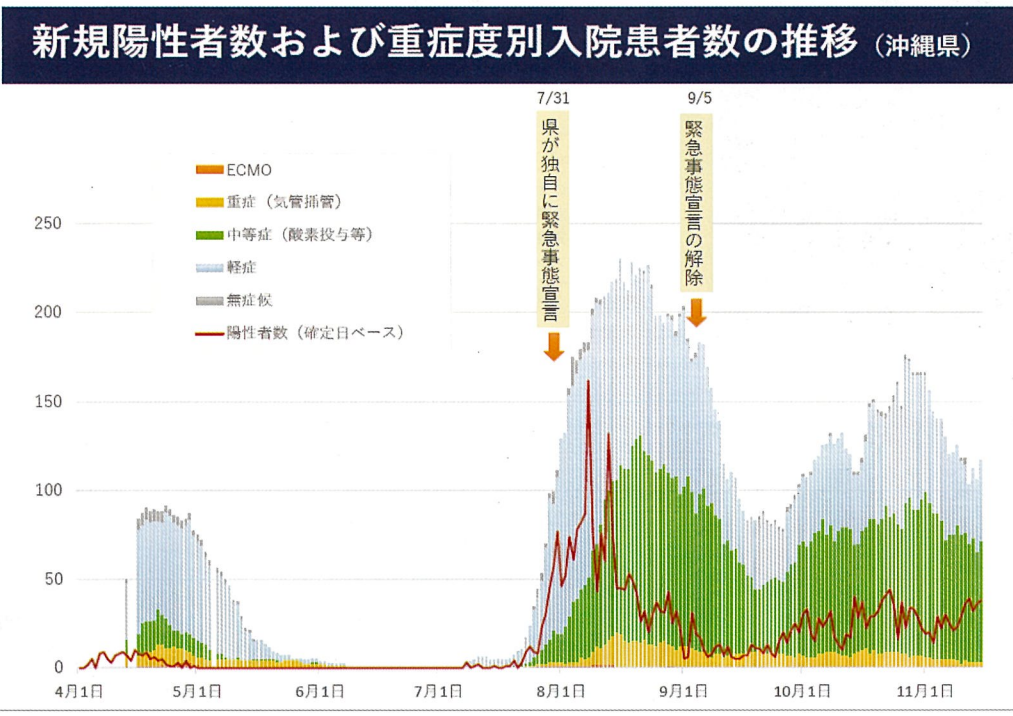
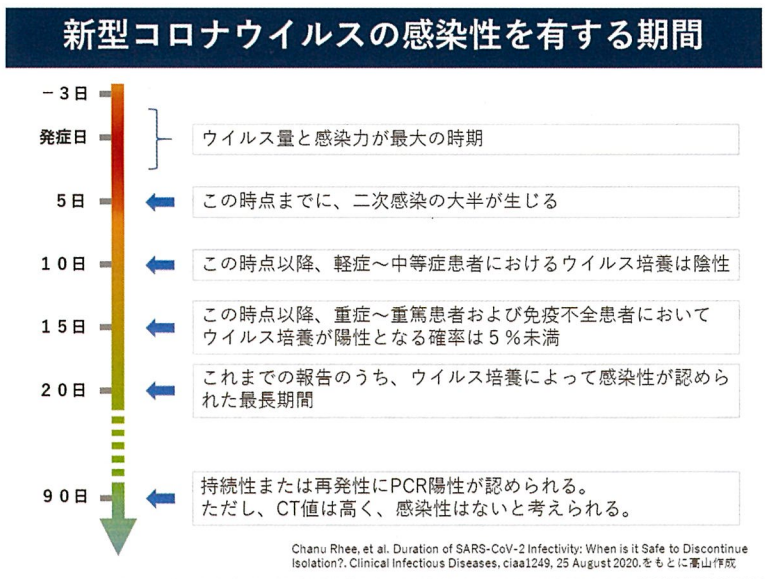
副会長 山田 護

今年、2月1日に那覇港に寄港したダイヤモンド・プリンセス号からタクシー運転手に感染し、その後横浜港に寄港した同船で大規模なクラスターが発生した。また、10か月しか経っていないが遠い昔のことと思えるのは私だけだろうか。その後、新型コロナウイルス感染症(以下同感染症)は、第一波、第二波を経過して今まさに第三波の真ただちにある。第二波が収まらないうちに、GOTOトラベルキャンペーンやGOTOイートを開始した日本政府。そのために感染が拡大したのではないと言いきるが果たしてそうだろうか。

先月、診療雑感のコーナーで私の闘病記をこの新聞に掲載した。丁度その入院期間中に第二波が押し寄せ、私が入院していた病院にも同感染症の患者さんが数名入院し、私も家族との面会ができなくなった。個室に一人入院していると拘禁反応というカストレスは並大抵のものではなかった。同感染症の入院治療だけでなく、一般病棟に入院している患者さんの診療にも多大な影響が出ることを身をもって体験することができた。

私のクリニックでは、第一波の時に感染対策として屋外に特設テントを張り、発熱者の診療はテント内で行った。地域の感染状況から一旦テントは撤去したが、この12月から再設置した。同感染症とインフルエンザの同時流行に対処するためである。インフルエンザの抗原検査における感染対策として、飛沫感染を避けるための防護具も準備している。同感染症に対する唾液によるPCR検査を11月から開始して3名の陽性者が出た。

当院ではこれまで毎年インフルエンザワクチンを3000名前後に接種してきた。最近、全国的にワクチンが不足し、医療関係者・国民に多大な不安を与えている。また、高齢者肺炎球菌の定期接種においても、23価ワクチン不足で接種できない状況が続いている。予約していたが、いつワクチンが供給されるかわからない。厚生労働省は十分なインフルエンザワクチンを準備していると言っているが、例年より約13%しか増産していない。例年接種を受けていない人が数多く接種を希望してクリニックを訪れている。企業での集団接種の数も例年より多い。この状況を考えるとそれでは不足するのは明白だ。インフルエンザ感染にしろ、同感染症にしろ、二次感染としての肺炎球菌性肺炎は致死的になる。国民の命を守るべき国の感染対策・ワクチン行政はお粗末と言わざるを得ない。



保団連九州ブロック会議開催

75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対 発熱外来補助金の運用改善を要望

11月15日保団連九州ブロック会議がオンライン(ZOOM)で開催され、九州各県から役員、事務局が参加した。新井議長(保団連理事)の進行のもと、はじめに三浦保団連副会長から「コロナ感染第3波と言われ拡大基調にあり、感染者が過去最高を更新する中、国は患者負担増に向けて、特に年末の全世代型社会保障検討会議に合わせて議論を集約しつつある。この流れに負けないためにも、今日の会議で日本の医療を守り発展させる立場から情勢交流を深めたい」と挨拶があった。

11月保団連理事会決定をふまえた情勢報告では、菅首相の所信表明で、75歳以上の高齢者医療の2割負担化、オンライン診療の恒久化などの政策方針が示され、コロナ禍での社会保険、公衆衛生の充実について具体的言及はなく、安倍前政権の継承が確認された。また核兵器禁止条約の50万回批准達成において保団連会長声明を提出し、日本政府に署名批准を求めたことが紹介された。医療情勢ではコロナ禍で医療機関の減収が拡大する中、政府は減収補填を認めず、歯科分野では来年1月の臨時改定が見送られ逆ザヤの拡大が危惧されていることが報告された。

後にも継続して保団連が政府に対し医療機関への公的支援を強く要請していくことが確認された。沖縄からは仲里会長が出席し、75歳以上の高齢者医療2割化に反対の意を示し、県のコロナウイルス感染症対策専門家会議の議事録作成、公開、透明性を求め11月26日に予定されている県知事要請の概要、米軍基地関係者のコロナ感染状況などについて報告を行った。

その他、ブロックの課題について、本田孝也長崎協会会長の保団連理事辞任、地域医療交流会の開催方法などについて確認し、終了した。次回もWeb会議(ZOOM)にて、年明け2月21日(日)午後1時~3時で開催予定。

11月1日(日)、webによる歯科全国交流集会に参加した。主な内容を報告する。①歯科医療の重要性について人の命を繋ぐために最も重要な食事を美味しく楽しむことは、基本的な人権と言える。それを支える歯科医療もまた重要といえるはずである。

②コロナ関係 ●厚労省やマスコミが明確な根拠なく「不要不急の歯科治療は控えましょう」と声高に叫んだが、歯科治療関連の感染報告は全国的に少数であると思われ、集団発生報告は見当たらない。むしろ歯科受診を控えることに歯科医が扱える検査や処置

の範囲を拡げることと診断の問が拡がり、重症化予防にも繋がると考える。そのためにも医科ドクターの意識改革や医科歯科連携の強化を図り患者メリットにも繋げたい。④新型コロナウイルスにも関係するが、上気道感染症の予防に口腔ケアが重要視されている。政府の「骨太方針」でも歯科医療による感染予防の重要性が説かれているので、効果的な広報と適正評価を頂きたい。

患者さんからのエール

照屋歯科医院 照屋 正信

2ヶ月ほど前、思いがけない一枚の葉書が届いた。「未だ収束していないコロナウイルス感染症の中、先生をはじめスタッフの皆様が細心の注意を払い感染症のリスクのある中、地域の人々のために勇気をもって治療にあたってくださる事に厚く感謝申し上げます。また、ご家族や大切な方のご協力もどれほどのものかと存じます。引き続き応援しております」

御主人共々、お世話になったと言う患者さんからの励ましは便りである。有り難いことだ。失礼ながらお名前前に記憶がない。調べてみると住まいは診療所の近辺だったが今は遠くに引っ越しているようだ。

これまで、医療従事者へのエールは応援ソングやメッセージなどの形でマスクやネットに数多く寄せられた。それにマスク、手袋、ガウン、アルコールな

どが逼迫する中、物心両面の支援は実に心に染みるものであった。このように市民からの善意の励ましがあ一方で心ない一部の方の誹謗中傷も浴びてきた。毀誉褒貶は世の常といえども、感染の恐怖と疲労困憊した体には堪えることでもあろう。でも、感染症の第一線に立つのは医療従事者しかいない使命と自覚に支えられ、また、自らの生活のためにも職務を果たさざるを得ないことでもあり、踏ん張っている方々が多い。

我が国の様々な脆弱性を炙り出したのも人類史に刻まれるに違いない今回の疫

第16回保団連歯科全国交流集会報告

による重症化(ex・コロナ虫歯)の方が問題と思われる。●前項より歯科開業医の感染対策(患者毎の手袋・滅菌・ラッピング等)は、高いレベルにあると言える。歯科が危ないという風評により経営悪化を招いた事に関しては国が責任をもつてあげて欲しい。●患者毎の感染対策費として現実に見合う点数を求めたい。歯科は長きに亘り、診療前の準備でさえ低点数を押し付けられており不公平である。

③歯科医が扱える疾病に関する 歯周病との関係が解明されつつある疾病においては、歯科医が扱える検査や処置

の範囲を拡げることと診断の問が拡がり、重症化予防にも繋がると考える。そのためにも医科ドクターの意識改革や医科歯科連携の強化を図り患者メリットにも繋げたい。

休業保障制度のご案内

新型コロナウイルス感染症による休業給付について

休業保障制度では、新型コロナウイルス感染症は給付の対象となる疾病です。病名が「新型コロナウイルス感染症疑い」でも給付対象です。

- Q 自身が感染して休業した場合、給付の対象になりますか?
A 傷病休業給付金の給付対象になります。ただし、第三者の医師への受診および主治医が「休業が必要」と証明した医療証明書が必要です。
Q 風邪症状があったので、念のため休業しました。PCR検査等は受けていません。この場合、給付の対象になりますか?
A 検査実施の有無や検査結果に関わらず、第三者の医師に受診し、医療証明書において「休業が必要」と証明された期間が、給付対象となります。また、今回の新型コロナウイルス感染拡大を受け、新型コロナウイルス感染症(疑い含む)については電話初診も受診として扱います。
Q 帰国者・接触者外来に電話し、PCR検査を受けるまで自宅待機を求められました。自宅待機期間も給付の対象になりますか?
A 初診日(電話・オンライン初診、PCR検査実施日含む)前から休業している場合、第三者の医師が休業を必要と認めていることを前提に、初診日から起算して、初診日前7日間の範囲で、加入者申告の休業開始日を完全休業開始日とします。(新型コロナ特例)
Q 患者さん、従業員、家族が新型コロナウイルス陽性となり、保健所から休診指示があった場合、休診期間は給付の対象になりますか?
A 先生ご自身が感染疑いで第三者の医師に受診し、「新型コロナ感染症疑い」等の病名が付され、休業を要すると認められた医療証明書が提出されれば、給付対象となります。保健所の指示のみで休業した場合は対象外です。
Q 感染して自宅療養となった場合はどうなりますか?
A 新型コロナウイルス感染症(陽性)で、各都道府県の指示によりホテル等の臨時施設での療養・自宅療養となった場合でも、入院給付金の給付対象となります。本来入院療養すべきところ、病床の空きがなく入院できない現状を踏まえた措置です。

実際にあった給付事例(沖縄)

開業医・50代・5口加入
9月、スタッフがコロナ陽性となり休業。先生本人もコロナ疑い病名にて給付金請求。
6日間自宅待機 180,000円給付

休業保障2021年4月1日加入
申込締切は12月28日(月)まで
となっています。

*11月度の給付金請求はありませんでした。
※その他、ご不明な点は協会事務局までお問い合わせ下さい。

2022年度から「こども医療費が中学校卒業まで無料化!」 社保協自治体キャラバン 「コロナ禍での県民の窮状を訴える」

県内の25団体(医療福祉、労働組合、障がい者団体など)の加盟と賛同する個人で構成される沖縄県社会保障推進協議会(会長・新垣安男)は、2020年度の自治体キャラバンを10月26日～11月25日まで県庁を含めた沖縄本島内の全27市町村で実施した。本会は中部ブロックの責任団体として、県も含めた12自治体との懇談に参加し、11月20日に開催された県庁懇談には仲里会長が参加した。

事業所を守るため、自治体として国へ反対の意見をあげるよう要請した。コロナ特例の保険料減免制度についても様々な手段を用いて周知・広報に努め、大きな被害を受けている自営業者を中心に必要な方が制度利用できるように体制強化を求めた。

昨年引き続き県内全41自治体からアンケートを回収し、その結果を基に懇談内容を6項目(国保、介護、子ども医療費・子育て支援、生活保護、障がい者支援、年金)に絞り、各自治体2時間の範囲で意見交換を行った。

加している現状や県内の受診控えによる死亡事例を報告。住民の受療権(命)を守るためにも、保険料の引き下げ、短期証の有効期限延長および資格証明書の発行中止を要請した。また国が検討している75歳以上の医療費窓口負担

子ども医療費については、2018年に本会、県社保協、母親大会連絡会の3者で立ち上げた「こども医療費無料制度を広げる沖縄県民の会」として継続して取り組んできた署名運動で、今回集まった1943筆の署名を、11月20日の県庁キ

ヤラバンで担当者に手交した。その後11月27日に、2022年度から県内全自治体で中学校卒業までの子ども医療費無料化実施との県発表があり、新聞等で大きく報じられた。県内全域から集められた署名で行政を動かしたことは大変意義深く、今後も窓口負担なしの完全無料化(現物給付)を求めて運動を継続していく。その他、生活保護では県福祉事務所統一のしおりが完成し、既に管轄の町村に配布されていることから、案内強化、補足率アップに努めるよう要請した。障がい分野では65歳介護保険優

先問題について、従前のサービスを打ち切ることがないよう柔軟な対応を求め、年金分野では生活困窮に陥っている無年金者世帯の把握に努めるよう、それぞれ要請した。

今回のキャラバンは、コロナ感染防止を理由に当初開催を躊躇していた自治体もあったが、コロナ禍での社会保障が住民を守るうえで大きな役割を担っている現状を伝え、各自治体でコロナ感染防止対策を徹底し、参加人数を制限する中、本島内全自治体での開催となった。社保協として今後もキャラバン等で自治体と情報共有を図りながら、県民の命と健康を守るため社会保障の拡充・改善運動に取り組んでいく。



子ども署名を手交する仲里会長



県庁での要請懇談

今回のキャラバンは、コロナ感染防止を理由に当初開催を躊躇していた自治体もあったが、コロナ禍での社会保障が住民を守るうえで大きな役割を担っている現状を伝え、各自治体でコロナ感染防止対策を徹底し、参加人数を制限する中、本島内全自治体での開催となった。社保協として今後もキャラバン等で自治体と情報共有を図りながら、県民の命と健康を守るため社会保障の拡充・改善運動に取り組んでいく。

「この本に教わった」 「沖縄の神さまから贈られた言葉」

照屋林助 著 晶文社

沖縄お笑い界のスーパースターだった、てるりんこと照屋林助さん。一流の喜劇役者や芸能人は、ただ面白いだけではなく深い哲学や思想を併せ持っている人が多いですが、てるりんさんはまさにそんな人だったのではないのでしょうか。本書では、てるりんさんが受け継いできた伝統的な沖縄文化、沖縄のものの考え方が、ユーモアを交えながら語られます。たとえば、沖縄の年中行事のもつ意義がわかりやすく書かれています。毎月のようにある行事は、「自然や祖先に対する敬意を再確認する。それらへの感謝や謙虚な気持ちを忘れずにいる。今生きている人のつながりを深める。」

日ばかりに行くぞ!」ってなもんです。この姿を見て子どもたちがうたいはやします。「つわーちきやーが、いちやびんどー」種付け師が行くぞ。そうしてオス豚が近くにやって来るころには、「彼女」だってもう準備万端整っています。それは一発で決まります。オス豚は急いでやってきて、上に乗っかって、すぐに終わる。やるぞやるぞ、と勇んできているから、ものすごく早い。豚は早漏です。

ほかに、フルヤーと呼ばれるトイレの話もあります。人のウンコがそのまます豚のえさになるという極めて合理的な作りです。豚は多産で子豚は8匹ほど生まれるそうです。そうなるフルヤーの豚はウンコを競って食べに来るのだそうです。その時の様子が面白おかしく描かれています。



オリブ山病院 横田 泉

診療雑感 26 与那国島に翔ぶ

みやら歯科医院 宮良 和利

11月の連休に与那国島へ行った。石垣から空路30分、離陸してしばらく眼下の島々を眺めているうちにやがて着陸に入る。数日ずっと天候不良だったが、この日は抜けるような青空で絶好の空撮日和だ。はやる気持ちを抑えてレンタカーを借り、東崎を目指す。与那国は空港や自衛隊基地の関係で、ドローンを飛ばせる場所

が東崎の周辺と西崎灯台付近に限られる。これまで数回経験済みだ。さっそく東崎近くの道路脇から最初のテイクオフ。崖つぶちを見下ろしながら大海原へ向かう。与那国島のぐるりは断崖絶壁が多く、そして様々な表情に富んでいる。踵を返し、今度は太陽を背にして海岸線を右へなぞる。吸い込まれそうな



紺碧に幾重にも寄せる純白の波がまぶしい。ようやく興奮する気持ちと操作する指が落ちついてきた。高度を150mまで上げながら左へ、いよいよ東崎灯台へアタックだ。広がる草原には草を喰む与那国馬たちが小さく見える。岬をぐるりとまわると向こうには軍艦岩、立神岩そして遙か右手にはさつき降り立った与那国空港と祖納集落も遠望できる。無粋な高層のホテルなどはない。与那国島には沖縄の原風景がある。